

喪主がやること

チェックリスト

2026年版 最新対応

このチェックリストの使い方

- 各ステップを順番にチェックしながら手続きを進めましょう
- に印を付けながら進めると、漏れや見落としを防げます
- ご家族・担当者と共有して複数人でご活用ください
- 期限のある手続きは後ページの各STEPで確認できます

収録チェック項目

STEP 1	死亡直後～24時間以内	6項目
STEP 2	葬儀準備期間（2～3日前）	9項目
STEP 3	葬儀当日	8項目
STEP 4	葬儀後～四十九日まで	12項目

合計 35 項目

お葬式.info

<https://ososhiki.info>

喪主・葬儀・終活・相続の総合情報サイト

※本資料は情報提供を目的とするものです。個別の事情は専門家にご相談ください。

2026年4月発行版

STEP 1 死亡直後～24時間以内

最優先で対応が必要な項目

- 医師による死亡確認と死亡診断書の受領**
病院・施設で亡くなった場合は医師が記載。自宅死亡は警察も関わることもある
- 遺体の安置場所の決定**
自宅・葬儀社の安置室・ホール等。ドライアイスの手配も葬儀社に依頼
- 親族への連絡（訃報連絡）**
まず近親者から。故人との関係が深い順に連絡。深夜でも即連絡が基本
- 葬儀社の選定と連絡**
複数社から相見積もりが理想。事前相談済みの場合はすぐ連絡
- 葬儀日程の調整（仮決定）**
火葬場の空き状況に左右される。宗教者・親族の都合も確認
- 枕飾りの準備（必要に応じて）**
仏式は枕飾りが一般的。葬儀社がセットで対応してくれる場合が多い

STEP 2 葬儀準備期間（2～3日前）

葬儀社と連携して進める項目

- 葬儀社との詳細な打ち合わせ**
葬儀の形式・規模・費用・祭壇・棺・花・霊柩車などを決定
- 費用の確認と見積もり承認**
追加費用が発生しやすい項目を事前に確認。書面で合意を
- 遺影写真の選定**
5年以内の写真を推奨。スマホ写真でもOK。葬儀社が加工してくれる
- 会葬礼状・式次第の確認**
葬儀社が作成してくれる場合が多い。誤字・内容を必ず確認
- 故人の友人・職場関係者への訃報連絡**
近親者への連絡後。SNSでの告知は慎重に（宗教観・プライバシー考慮）
- 宗教者（僧侶等）への連絡と打ち合わせ**
菩提寺がある場合はまず連絡。戒名（法名）・お布施の相談も
- 役割分担の決定（受付・案内・会計等）**
親族や信頼できる知人に依頼。事前に役割と流れを説明する
- 喪服・礼服の準備**
喪主は正式喪服（和装または洋装）が基本。家族全員分の確認を

香典帳・芳名帳の準備

葬儀社が提供する場合も。記帳係に使い方を説明しておく

STEP 3 葬儀当日

喪主として式を取り仕切る

開式1時間前には葬儀会場に到着

葬儀社スタッフと最終確認。祭壇・音楽・照明・受付の配置を確認

受付・案内スタッフへの最終ブリーフィング

香典の受け取り方・記帳の手順・参列者の誘導を再確認

僧侶（宗教者）へのご挨拶とお布施の準備

白封筒または不祝儀袋に入れて両手で渡す。金額は事前に相談済みで

通夜または葬儀・告別式での喪主挨拶

2〜3分程度。感謝・生前のお付き合いへの礼・今後の変わらぬ支援を依頼

火葬場への移動・立ち会い

喪主が先頭の車に乗るのが慣例。火葬中は控室で待機

収骨（お骨上げ）への参加

二人一組で箸を使って骨を骨壺へ。喪主が最初に行うのが一般的

精進落とし（会食）での挨拶

火葬後に行う会食。喪主または喪主家族が冒頭に挨拶をする

参列者・弔電への御礼と見送り

帰りがけに喪主自ら一言添えるとより丁寧。弔電は後日礼状を

STEP 4 葬儀後～四十九日まで

行政手続きと法要準備を並行して進める

死亡届の提出（死亡後7日以内）

市区町村役場へ。医師の死亡診断書と一緒に提出。火葬許可証も同時取得

年金受給停止の手続き

厚生年金・国民年金ともに14日以内に年金事務所へ届出

健康保険の脱退手続き

国民健康保険は14日以内。勤務先の社保は会社経由で手続き

銀行口座の相続手続き

死亡通知後に口座は凍結される。各金融機関の窓口で相続手続きを

喪主がやることチェックリスト 2026年版

不動産・車などの名義変更
法務局（不動産）・運輸局（車）。相続登記は2024年から義務化

遺言書の有無確認
自筆証書・公正証書・秘密証書遺言の違いに注意。家庭裁判所での検認が必要な場合も

相続人・相続財産の調査
戸籍謄本を収集して相続人を確定。財産目録（プラス・マイナス両方）を作成

相続放棄の検討（3ヶ月以内）
借金が多い場合など。家庭裁判所に申述。期限厳守

相続税の申告（10ヶ月以内）
基礎控除：3,000万円+600万円×法定相続人数。超える場合は税理士に相談

仏壇・位牌の手配（四十九日までに）
忌明け（四十九日）までに魂入れを行うのが一般的

香典返しの準備（四十九日後1ヶ月以内）
いただいた香典の半額～3分の1が目安。当日返しをした場合は不要

四十九日法要の準備
日程・場所・宗教者・参列者への連絡・会食・引き出物・納骨の手配